

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		常備消防施設維持管理事業			担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4505	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり			根拠法令 個別計画等	・消防力の整備指針				
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト	0	(未使用)								
事業概要		市民が安全・安心に暮らせるよう、各種法令等に基づき適切に消防施設を維持管理することによって、災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保するものである。									
目的 ※何のために		市民が安全・安心に暮らせるため。									
対象 ※誰・何を対象に		消防施設									
手段 ※どのように		法令に基づく各種定期点検・保守点検を実施し、所管課による定期的な点検を行う。									
成果 ※何を求めるか		災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保する。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔消防総務課〕	56,913,747	
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔建築住宅課〕	979,000	
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防施設維持管理事業〔警防課〕		
本事業の 主な業務		・電気設備保安管理業務						・庁舎清掃業務			
		・エレベータ保守点検						・寝具滅菌乾燥消毒業務			
		・特定建築物衛生管理技術者業務						・庁舎等補修修繕			
		・空調設備保守点検						・建物調査の実施			
		・消防用設備保守点検						・			
		・浄化槽保守点検、清掃業務、法定検査						・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			消防分署備品一式(寄居分署)受電ケーブル更新工事(花園)植栽業務委託料(本部庁舎)	訓練施設修繕(深谷)訓練施設修繕(花園)		消防本部空調設備更新工事設計業務	消防本部空調設備更新工事旧川本分署解体工事
事業費	予算(現額)	33,079,000	75,342,000	55,118,000	49,995,000	59,415,000	157,841,000
	決算額	31,172,614	69,310,230	53,647,365	46,598,508	57,892,747	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	6,254,000	4,528,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	8,593,000	16,794,000	11,629,000	27,451,000	100,698,000
	一般財源	22,579,614	52,516,230	42,018,365	25,591,508	24,187,747	52,615,000
人件費	従事職員数(人)	0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	0.80
	人件費相当試算※	6,612,150	6,614,700	6,681,850	6,915,600	6,597,628	6,505,078
総事業費試算		37,784,764	75,924,930	60,329,215	53,514,108	64,490,375	164,346,078

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	施設修繕件数		目標値	件						
			実績値		15	32	22	23	18	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			修繕の件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 2	常時稼働施設数		目標値	箇所	8	8	8	8	8	8
			実績値		8	8	8	8	8	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防活動拠点機能を維持するため、常時稼働すべき施設数を目標としている。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 3	施設稼働日数		目標値	日	2920	2920	2920	2920	2920	2920
			実績値		2920	2920	2920	2920	2920	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			常時災害に対応するため、8施設の稼働すべき日数を目標値としている。 / 1年365日						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防活動拠点機能を維持するため、定期的な目視点検を実施するとともに、施設等に不具合が発生した際には、市民影響や緊急性の高さなどから優先順位を定め効率的な修繕を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	機能維持に欠かすことのできない設備の修繕を効果的に実施したことで、すべての常備消防施設を通年稼働させることができた。
			評価者 課長補佐兼施設係長 飯野昌栄

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	C	消防業務に係るオンライン会議に対応するため消防本部庁舎にインターネット環境を整備したが、オンライン会議の需要が高まり、タブレット端末の不足や他署所から消防本部庁舎へ出向しなければ会議に参加出来ないなどの課題があることから、効率化する必要がある。
			評価者 課長補佐兼施設係長 飯野昌栄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	花園消防署及び上柴分署は、一部屋に複数のベッドを配置した集合型仮眠室となっており身体的距離が確保できていない状況である。そのため、職員の中に新型コロナウイルス感染者が発生した場合、職員間で更なる感染が拡大する恐れがある。既に大規模改修時期に達している花園消防署及び上柴分署の改修工事は構想段階であり、具体的な改修方法や実施時期などの方針を決定するためには一定の期間が必要となることから、消防業務継続のため「新しい生活様式」に対応した早急な対策が必要である。
達成状況及び その効果	消防職員の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、パーティション等を導入し、集合型仮眠室を分散化することができ、新しい生活様式に対応することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備消防施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4505
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>花園消防署及び上柴分署は、新しい生活様式を踏まえた仮眠室の分散化を行った。消防活動拠点となる消防施設の機能を維持管理するため、定期的な点検を行い不具合が発生した場合には必要に応じて修繕を行う必要がある。今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止も考慮した消防施設の維持管理を継続して実施し、災害発生時における災害活動拠点としての即応体制を維持、確保する。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼消防総務課長 齊藤新一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	感染リスクが高い消防業務では感染拡大防止の観点から、対面での防火啓発の機会が大幅に減少し、講習会は中止や実施規模縮小によって、十分な効果が得られない状況である。このことから、消防本部庁舎のみならず各地域の署・分署においても外部関係者とのオンライン会議や講習を実現するための環境を整備する必要がある。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	花園消防署及び上柴分署は竣工から30年以上が経過し、建物内外部は経年劣化による建物やクラック等が多数確認でき、会議室などの床やクロスは損耗が著しい状況であることから、改築に係る方針を定める必要がある。

8. 評価指標グラフ

